

- (3)「栄養で決まる新型コロナウイルス感染症の予後」  
中尾 健太郎(イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院院長)
- (4)「慢性期病院における新型コロナウイルス感染症に対する特定看護師の関わり(仮)」  
井口朋子(医療法人社団富家会富家病院看護部長)
- (5)「新型コロナウイルス感染拡大防止とりハビリ推進の取り組み」  
吉尾雅春(医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院副院長)
4. 現場におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の実践と課題  
座長：三上容司(横浜労災病院院長)
- (1)「ACP概論(仮)」  
三浦靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部部長)
- (2)「病院におけるACP(仮)」  
清水幸裕(南砺市民病院院長)
- (3)「在宅医療におけるACP(仮)」  
新田國夫(医療法人社団つくし会新田クリニック院長)
- (4)「介護現場におけるACP(仮)」  
宇都宮 宏子(在宅ケア移行支援研究所)
5. カルテ情報の統一化と共有  
座長：楠岡英雄(国立病院機構理事長)
- (1)「厚生労働省の最近の取組」  
田中彰子(厚生労働省医政局参事官(特定医薬品開発支援・医療情報担当))
- (2)「電子カルテを介した医療健康情報の共有のために～インフラ構築とともにコンテンツの充実を～」  
渡邊 直(医療情報システム開発センター顧問)
- (3)「電子カルテ情報の統一化と共有に向けた現状と課題について～ベンダーの立場より(仮)」  
岡田靖士(保健医療福祉情報システム工業会医療システム部会電子カルテ委員会委員長)
6. 新型コロナ禍における認知症診断・治療の問題点と将来への希望  
座長：福井俊哉(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院院長)
- (1)「新型コロナ禍における当院神経精神科の取り組み」  
笠貫浩史(聖マリアンナ医科大学病院認知症(老年精神疾患)治療研究センターセンター長)
- (2)「新型コロナ禍における認知症専門病院の現状と課題」  
長濱康弘(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院副院長)
- (3)「新型コロナ禍における当院の取り組み～初期集中支援チーム、連携型認知症疾患医療センターの取り組みを中心に～」  
内門大丈(医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南院長)
- (4)「新型コロナ禍におけるレビー小体病診療～クリニックの立場から～」  
織茂智之(医療法人社団新穂会上用賀世田谷通りクリニック院長)
- (5)「新型コロナ禍での地域における認知症ケア～在宅医療の現場から～」  
高瀬義昌(医療法人社団至高会たかせクリニック理事長)
7. 病院の明日を拓くDX(デジタルトランスフォーメーション)  
座長：長堀 薫(横須賀共済病院病院長)
- (1)基調講演：「医療のデジタル化・AI化で心温まる医療を！」  
中村祐輔(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長)
- (2)「IT/AIの病院への実装を目指して」  
陣崎雅弘(慶應義塾大学病院副病院長/慶應義塾大学医学部放射線科学教室教授)
- (3)「急性期の入力支援AIと医療データ連携を通じた、価値を生み出す急性期医療DX」  
園生智弘(TXP Medical株式会社代表取締役/救命救急医)
- (4)「音声入力電子カルテ導入からAIホスピタル実現へ向けた当院の取り組み」  
土井智喜(横須賀共済病院救命救急センター長AIホスピタルチームリーダー)
8. 地域で活躍する看護師としてのキャリア開発と人材活用  
座長：荒木田美香子(川崎市立看護大学副学長)
- (1)「地域で活躍する看護師を見ずえた看護基礎教育の在り方」  
永田智子(慶應義塾大学看護医療学部教授)
- (2)「地域包括ケアシステムを支える看護職員活用に向けて」  
後藤友美(厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室長)
- (3)「訪問看護ステーションにおける特定行為看護師の育成と活用」  
高関左保(訪問看護ステーション上西所長)